

く ない てん そ じん じゃ  
区内の天祖神社

江戸川区内には、『東京都神社名鑑』<sup>めいかん</sup>（1986年発行）に記載されている神社が59社あります。これらの多くは、区内の村の鎮守<sup>ちんじゅ うぶすな</sup>（産土）の神社でした。

このほか区内には、稲荷社や水神社・道祖神社・天満宮・第六天宮や弁天宮など、地域や個人が昔から熱心に信仰してきた大小さまざまな神社や祠<sup>ほくら</sup>が数多くあります。

59社の神社で最も多いのは、天祖神社など天照大神<sup>あまてらすおおみかみ</sup>を祀る神社で、他の神も合祀している神社を含め、20社あります。

天照大神を祀る神社は、中世に関東武士により伊勢神宮に「荘園」<sup>しょうえん</sup>として寄進された「御厨」<sup>みくりや</sup>だった地域に多くみられます。本区も「葛西御厨」として、その地域に含まれていました。

また、江戸時代初期の新田開発<sup>しんでん</sup>による村の成立時に、当時盛んだった伊勢信仰によって勧請<sup>かんじょう</sup>された天祖神社もあります。

なお、昭和12年(1937)に創建された小松川神社も、荒川放水路の開削で村が分断された際、旧西小松川村の鎮守の二神を勧請し、天祖神と香取神を祀っています。

### 「神明社」と呼ばれていた天祖神社

天祖神社は伊勢神宮の天照大神を主神として祀る神社で、江戸時代までは一般的に神明社<sup>しんめいしゃ</sup>（神明神社・神明さま）と呼ばれていました。



西小松川町 天祖神社



南篠崎町 天祖神社

「神明」とは、一般に「神」と同じ意味の言葉ですが、平安中期から鎌倉時代にかけて「天照大神」を指して用いるようになりました。

「天照大神を天祖」とする明治3年(1870)の大教<sup>だいきょう</sup>宣布<sup>せんぷ</sup>によって、東京府が府域内の神明社を「天祖神社」に名を改めさせたことから、東京都23区内<sup>しばだいじんぐう</sup>では、芝大神宮を除いて天祖神社と称しています。



中割の天祖神社(東葛西七丁目)

### 江戸川区内の天祖神社など「天照大神」を祀る神社

天祖神社	北小岩5-17	万延元年(1860)の創建、慶応3年社殿改築、樹齢約300年の銀杏あり。
天祖神社	北小岩6-39	旧上小岩村鎮守。寛永年間に創建か。大地震後安政5年(1858)改築。
天祖神社	北小岩7-28	天正年間創建と伝う。享和2年(1802)と文政10年(1827)再建。
天祖神社	東小岩1-32	旧笹ヶ崎村の鎮守。弘治元年(1555)創建、観音寺が別当だった。
小岩神社	東小岩6-15-15	天文5年(1536)行徳の五社明神を動座。旧中小岩村・下小岩村鎮守。
天祖神社	南小岩4-1	天保年間に改築の記録あり、創建は不詳。
天祖神社	南小岩6-16	旧神明社。創建は不詳、円蔵寺が別当だった。
天祖神社	西小岩2-2	旧上一色村鎮守。江戸期の裸参りの絵あり。
天祖神社	南篠崎町2-54	東葛西領上鎌田村の御厨として祀られ、文化14年(1817)再建。旧村社。
豊田神社	東瑞江2-5	旧下蒲田村の鎮守。天祖・香取の2神を祀る。創建は不詳。
天祖神社	本一色町1-11	旧本一色村の鎮守。「西の宮」、「三社明神」という。創建不詳。
おきのみや 興之宮神社	興宮町18-26	旧興之宮村鎮守「東の宮」。創建不詳。寛永7年(1630)改築
天祖神社	松本2-37	旧松本村の鎮守。元和9年(1623)創建、新中川開削で現在地に移転。
天祖神社	春江町2-11	旧一之江新田の鎮守。元和2年(1616)創建、元禄7年(1694)再建。
天祖神社	一之江1-9	旧東一之江村の鎮守。創建不詳、三百年前勧請か。通称「向い神明」
天祖神社	大杉1-22	旧西一之江村鎮守。通称「大杉神社」。将軍鷹狩休憩の腰掛石あり。
天祖神社	西小松川町1-3	旧西小松川村の鎮守。創建不詳、康正2年(1456)秋元氏が神職奉仕。
小松川神社	小松川3-4	昭和12年(1937)創建、旧西小松川村から天祖・香取の2神を分霊。
天祖神社	平井7-28	旧平井村の鎮守。創建不詳。安養寺が別当だった。
天祖神社	東葛西7-17	<sup>なかわり</sup> 中割の神明さま。宇喜新田の開発により慶安2年(1649)創建。

参考文献：『東京都神社名鑑』東京都神社庁 昭和61年(1986)刊、『江戸川区史』第3巻

## 江戸川区郷土資料室

〒132-0031 東京都江戸川区松島 1-38-1 グリーンパレス 3階  
TEL : 03-5662-7176 (9:00~17:00)